

北九州市 屋台村の戦略

【目的】

- ・北九州市ビジターズ・インダストリーの成功事例をつくる
- ・消費額の大きい宿泊客の獲得を目指す
- ・小倉都心部の活性化と地産地消の促進を図る

《キーワード》

- ・コミュニケーション
- ・にぎわいづくり
- ・宿泊客の喚起
- ・地産地消

■ ~まちが変わった~ 『にぎわい』の成功事例をつくる

- ・にぎわいの成功事例（パイロットケース）をつくる
市民に『にぎわい』を実感して頂くとともに、自発的に『にぎわい』を創出して頂くため、にぎわいが視覚的に実感できるパイロットケースをつくる
- ・『食』をテーマにまちを元気にする ⇒ 『にぎわい』の成功事例をつくる
地域特性を最も身近に表現・体感できる『地域の食べ物』
それを気軽に、かつ地元の雰囲気味わいながら食することができる『屋台』

既存屋台との連携

北九州市版 屋台村の実現

■ 宿泊客の喚起

- ・宿泊の誘因につなげる
屋台を展開することにより、夜のにぎわいを創出し、本市を宿泊先として、誘因につなげる
- ・消費額の拡大による地元経済の活性化
宿泊客を獲得することにより、宿泊に伴う各種消費活動を促進し、併せて地元経済の活性化につなげる

ホテル等の宿泊業との連携

旅行代理店とのタイアップ

■ 小倉都心部の活性化

- ・まちを明るくする
屋台は、視覚的な明るさをもたらすとともに、お客同士の弾む会話をもたらす心理的な明るさも提供する
- ・インキュベーター機能
飲食店を起業したいという人に、開業機会と将来的な独立開業を踏まえた仕組みを構築し、空き店舗対策と組合せる

市場・商店街・大型商業施設との連携

まちづくり団体との連携

■ 地産地消の促進

- ・地域資源『食』の発信
本市で獲れる食材を気軽に提供できる場を設けることで、市民や来訪者に対し、地域資源『食』を発信するとともに、生産活動の活性化を促進する
- ・郷土愛の創出
自分の街で獲れる食材を知ることは、郷土愛につながり、郷土愛は自分の街に自信を持つことに繋がる
そこから生まれる自慢話が連鎖につながる

農協（JA）、漁協、酒造元、その他
食品関連会社などの生産者との連携

料理研究家、野菜ソムリエ、郷土料理・
郷土菓子研究会などによるプロデュース

(北の屋台)

